



芸南トピックス



わくわく職場体験 呉市立安浦中学校2年生



安浦店では8月20日〜22日の3日間、令和6年度呉市「キャリア・スタート・ウィーク」で、市立安浦中学校2年生の2名を職場体験で受け入れました。
ふれあい市では接客、レジ打ち、POP作り、購買店では玄米の精米や農事暦について営農指導員から学びました。



野菜栽培講習会

芸南地域営農経済センターは地域農業の振興と、次世代生産者の育成のため8月22日に安芸津町、23日に川尻町と安浦町で野菜栽培講習会を開催しました。
講習会には組合員40人が参加し、冬野菜のキャベツ、ハクサイ、ブロッコリーなどの苗作りについて営農指導員が講義し、みなさん熱心に受講されました。



避難消火訓練実施

芸南地域営農経済センターと安芸津アグリセンターの職員等17名は、8月21日に避難消火訓練を行いました。
ふれあい市安芸津店から火災が発生した想定で、荒谷センター長の指示により、職員が通報、避難誘導、消火の任務に就き、買い物中のお客様にもご協力をいただき訓練を行いました。
この訓練は、東広島消防署安芸津分署の協力のもと、火災、地震その他の災害の予防と人命の安全、被害の軽減を図ることを目的に、毎年8月と2月に行なっています。



▲消火活動訓練をする職員

▶ Information お知らせ

支店ふれあい委員会合同企画 落語で楽しく学ぶ「今どきの終活」を開催します

家族みんなで、これからのことを考えてみませんか???

開催日時：令和6年11月5日(火) 午後1時30分から
場 所：東広島市安芸津生涯学習センター ホール
申 込 先：安芸津支店 0846-45-1243、安浦支店 0823-84-2040、川尻支店 0823-87-2046
申込期限：令和6年10月24日(木)

なお、申し込みが多数の場合は、期限を待たず受け付けを終了させていただく場合があります。





水稲 10月

来年の土づくりについて

冬場の土づくりは来年の稲の生育に大きく影響するので、有機物補給・土壌改良剤を施用し耕起しておきましょう。

①有機物(10a当り)次のいずれかを1t施用しましょう。

- ・牛ふん堆肥
- ・豊穡2号
- ・こだわり健康

②土壌改良剤は水田の状態によって使い分けて施用しましょう。

病気が多い水田では茎葉を強化し、病害耐性を高める「ゲイ酸」を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる「鉄分」を施用してください。

資材の使用例(※10a当り施用量)

ケイカル 200kg(10袋)

ケイ酸主成分。倒伏防止、いもち病・ごま葉枯れ予防に。

【作付け前】

防除例

ダイアジノン粒剤5を土壌混和4kg/10a(は種または定植時・1回)

【作付け後】

ガードベイトAを株元散布3kg/10a(は種・生育初期・4回以内)

※害虫が食べる誘引殺虫剤です。降雨があると薬剤が溶けだし、効果が落ちはじめますので、再度散布してください。

いづれも登録作物に注意して散布してください。

〈馬鈴しょの生産者のみなさまへ〉

ウイルス病が多発しています。感染源のアブラムシを防除しないと、産地全体の生産量が大幅に減収する恐れがあります。畑に残ったイモも感染源となるため、発芽したら早めに除去しましょう。種は連作せず、健全な製品を購入しましょう。切断により感染もするので包丁は必ず殺菌しましょう。

〈生産工程管理日誌を提出しましょう〉

生産工程管理日誌は作業記録としても利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用には細心の注意を払い、正確な記入と提出をお願いします。

ミネリッチ 100kg(5袋)
ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に。

ミネラルG 200kg(10袋)
ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガンとバランス良い改良資材。

土壌菌 60kg(3袋)
高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ。

その他
石灰窒素 20kg(1袋)
年内に生ワラの上に散布。腐敗と微生物の増加を促進。

アグリ革命 2kg(1袋)
酵素で稲ワラを分解し、うきワラ・ガスわきを減少させる。

水稲 問 安浦店
TEL 0823-84-2049
担当 桑原 伸明

野菜 10月

馬鈴しょ
病害虫防除・管理について

アブラムシの発生はウイルス病を媒介し、後の収穫に大きく影響します。また、急激な低温・長雨があると病気が多発します。早期の連続予防散布を心がけましょう。

病害虫防除例
10月上旬
「アブラムシ」
モメントフロアブル 4,000倍液

野菜 問 営農経済課
TEL 0846-45-3360
担当 久保 勝義

果樹 11月

温州みかん

腐敗果を出さないためにも、腐敗防止対策を必ず行ないましょう。
収穫前には、次の対策を実施しましょう。

1. 腐敗防止剤を必ず散布する
散布時期
・ 早生温州 10月中旬～10月下旬
・ 普通温州 11月中旬～11月下旬

散布薬剤
ベルクトフロアブル 2,000倍液 (収穫前日まで)
ベンレート水和剤 4,000倍液 (収穫前日まで)
の混用散布を実施しましょう。
※ベルクトフロアブルは散布後丸1日間収穫できません。

その際、浮皮軽減・着色促進のため、カルピタP770倍液を混用散布しましょう。
また、普通温州は樹勢回復のため、尿素200倍液を混用散布しましょう。
さらに、腐敗防止剤と収穫前ミカンハダニ防除を同時に行なう場合は、オマイト水和剤750倍液を散布しま

(収穫7日前まで、使用回数3回以内)
【疫病防除】
ランマンフロアブル 1,000倍液 (収穫7日前まで、使用回数4回以内)
前記2剤を混用散布。
10月下旬
「アブラムシ」
ウララDF 3,000倍液 (収穫7日前まで、使用回数2回以内)
【疫病】
フォリオゴールド 1,000倍液 (収穫7日前まで、使用回数3回以内)
前記2剤を混用散布。

※アオムシ・ヨトウムシの防除は定期的な観察を行ない、**早めの防除をお願いします。**
防除例(追加防除)
「アオムシ・ヨトウムシ」
ベネビアOD 4,000倍液 (収穫7日前まで、使用回数3回以内)
またはデアアナSC 3,000倍液 (収穫前日まで、使用回数2回以内)
「ジャガイモガ」
ランネット45DF(劇) 1,000倍液 (収穫7日前まで、使用回数5回以内)

・ 土寄せ：土寄せは馬鈴しょの緑化を防ぎ、肥大を促進するため、着蕾期終わりまでには必ず行ないましょう。
・ ウイルス病、葉巻病の発生が確認された場合は、伝染を防ぐため、発生株を抜き、ほ場外へ出してください。

しょう。

ただし、温州ミカン 収穫7日前まで
中晩柑類 収穫14日前まで
使用回数は2回までとなっていますので、注意して散布しましょう。

2. 秋肥を施用する

まだ秋肥を施用されていない園地では、遅くとも上旬までに施用しましょう。特に隔年結果がひどく今年全くなっていない園地ほど、隔年結果は正のためにしっかりと基準量を施用しましょう。

びわ

開花開始時期となり、令和7年夏の収穫を目指し、管理作業を徹底しましょう。

1. 病虫害防除

年間の病虫害発生密度を少なくするために石炭硫黄合剤を散布しましょう。また、芯ぐされ(果実腐敗病)の発生防止のためにも開花期の殺菌剤散布を必ず実施しましょう。

散布時期
11月中旬～11月下旬
散布薬剤
石灰硫黄合剤100倍液を幹まで掛かる様に散布しましょう。

2. 摘房・摘蕾の実施

連年安定生産を目指し、枝数6割程度で充実の良い果房を残します。(目

たまねぎ

作付け・病害虫防除・管理について
※苗の植付け時期は早生で11月上旬、晩生は11月中旬頃です。
植え遅れしないように注意しましょう。

植付け後は苗の立枯病と、初期の病害虫・べと病に注意しましょう。

病害虫防除例
【苗立枯病】
オーソサイド水和剤 600倍液 (収穫前日まで、使用回数5回以内)
【べと病】
ダコニール 1,000倍液 (収穫7日前まで、使用回数6回以内)
【アザミウマ類】
スミチオン乳剤 1,000倍液 (収穫21日前まで、使用回数2回以内)

その他の野菜

秋の深まりとともに、種のまき時が終わる品種があります。まき遅れは生育不良につながり、生産量が減少します。種袋などの唇を確認し注意しましょう。温度が下がるにつれて害虫は減少していきますが、予防を心がけましょう。

ネキリムシ(カブラヤガ・タマヤナガなど)に注意!
ガの幼虫で、地中に潜み、夜間に植え付け直後の野菜苗や発芽した芽を食害し、切り倒す特徴があります。

作付け前に薬剤の予防散布を行ない、作付け後も観察し対策をしましょう。

安：2枝につき1花房残す程度また副梢は小玉で生育が遅れやすいため、中心枝を残すようにしましょう。なお、寒害を受けやすい園地では、副梢を2割～3割程度多めに残しましょう。
摘蕾は摘房と同時進行で実施しますが、残した花房の下3段の花こうを残して上部を除き、その中から大きくて充実しているものを2段を残し、1段は除くようにしましょう。

いちじく

収穫が終わわり、樹体では落葉が始まります。残果・落葉は病虫害の感染源となるため、できるだけ園外に持ち出して処分しましょう。

農薬使用の注意点

・ 使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
・ 環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示板などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
・ 作物の残留農薬が問題となっており、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。

果樹 問 安芸津アグリセンター
TEL 0846-45-0488
担当 広果 連駐 在 技術員 栗木 富生

10月の苗販売情報

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。

数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂きますと幸いです。



128穴セルトレイ



(商品例)ブロッコリー苗

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	春波・春空など	10月下旬～	2月中旬～
レタス類	サニーレタス・ロメインレタスなど	10月下旬～	1月下旬～
ブロッコリー	エンデバー	10月中旬～	3月中旬～

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応致します。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

JAひろしま
ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



あなたとわたしの
ふれあい市



10月の
おすすめ

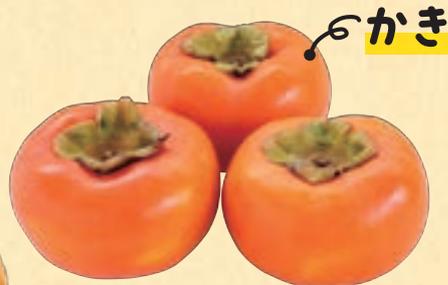
日に日に秋が深まり、過ごしやすい気候となってきました。
収穫の秋と言われるように、秋にはおいしい食材がたくさんあり、
食べる楽しみが大きい季節ですね。
ふれあい市から季節の情報をお届けします。



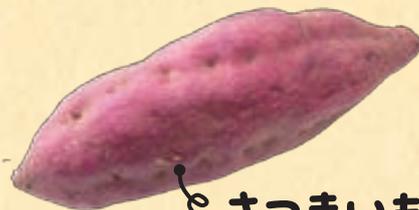
レモン



みかん



かき



さつまいも



さといも



くり

出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。